

日本橋モラロジー事務所 概論研究会（6）

正義と慈悲

はじめに・ ・ ・

わたしたち人類社会の根本は、正義と慈悲にあります。
究極的には人類に幸福をもたらす標準です

人類社会の目的は全ての人が公平に扱われ、幸福な人生を全うできる、という正義の実現である。

従来、正義という目的を実現するのに正義を方法としてきたため、かえってその目的を思うように実現できなかった！

正義を実現する方法は慈悲に求めるべきである。

正義という目的を実現するもっとも有効な方法は慈悲にある。

はじめに・ ・ ・

わたしたち人類社会の根本は、正義と慈悲にあります。
究極的には人類に幸福をもたらす標準です

人類社会の目的は全ての人が公平に扱われ、幸福な人生を全うできる、という正義の実現である。

従来、正義という目的を実現するのに正義を方法としてきたため、かえってその目的を思うように実現できなかった！

正義を実現する方法は慈悲に求めるべきである。

正義という目的を実現するもっとも有効な方法は慈悲にある。

なんのことも、さっぱりわかりません！！！！

正義とは

- 公正に対する真理
 - 『森羅万象』人間を含む万物の間「調和と均衡」が、「正義」
 - 万物の間の「調和と均衡」を目指して、万物を育てるのが、「慈悲」
 - 何人も「公正で礼儀正しく」万物に接し、何人も万物から「公平で平等に」扱われることが理想→正義？
 - 人類社会では、中正、平均、公正、公平、義、中庸・・・という考え方
 - 人類社会では、法、慣習、しきたり、おきて、常識・・・という表現
 - 効果として、人間社会に調和を、行動指針を与え、立ち居振る舞い指南する
 - ただし、先天的に、人類みな、おなじではない
 - ただし、後天的に、人類総じて、差がついてしまう
- これも正義??

人類社会における正義

- 三つの種類がある
 - 機会均等
 - スタートの平等（先天的に問題があれば、平等どころではない・・・）
 - 分配
 - 成果や貢献により、それに比例して「報酬」が与えられる。
（成果や貢献をどのように公平・公正に評価できるのか？）
 - 調整
 - 人類社会での正義に反する行為について、ペナルティーを与える正義
（正義に反する行為とは、ペナルティーの種類&軽重はだれが決める？）
- 正義運用の問題点
 - 個人や集団が各自の基準により決定した正義は、本物の「正義」？

人類社会における「応報原理」と 「神仏の正義」

- 人類社会として、社会の全員が協力して「善」増産する。（正義）
- 協力した各人の貢献に応じて「分配」する→応報原理
何を分配するの？
 - 問題点
 - 1, どうやって、貢献度を判定する？貢献しつつ、破壊しているかも
 - 2, そもそも、参加できないひとはどうする？（先天的&後天的な災禍に見舞われた各人）
 - 3, 貢献に、直接参加できないひとはどうする？（弱者へ扶助、介護、養育、孝養、etc）
 - 4, 貢献にそもそも、標準的な尺度がそんざいしない。恣意的な尺度が幅をきかさないか？
- 翻って、「神の正義」とは
 - 1, 人類以外の生命を含め、地球上の生命全体で調和を図る
 - 2, 人間中心主義や人間至上主義をあらためる
 - 3, 人類の過剰な欲望主義を諫め、慎ましやかな生き方の推奨
 - 4, 人類社会においては、正義とともに、「慈悲・仁恕・隣人愛」が必要
 - 5, 自然との調和が必要

神仏の正義とは

- 人間の利己的な正義を超越するために・・・
 - 天、宇宙、自然、神、仏などを人間を超越するため聖なる存在とした
 - それらは、科学的に証明できない
 - いずれも、深く考慮せず、それらの摂理・教え・教条などを認め・・・
 - 以上のことを「素直」に認めることで、
「神仏の正義」にふれることができる。

- さきの・・・2，人間中心主義や人間至上主義をあらためる
- 2日の日本航空事故にて、ペット二匹が犠牲になって、論議が盛ん
- さて、この行為は「神仏の正義」に反する？

神の正義ー続き

- 老子「63章」
 - 「恨みに報いるに徳をもってす」
 - 恨みに対して報復するのではなく、むしろ相手の利益になることをして、報いる
- 孔子「論語ー憲問第14」
 - 「直きを以て怨みに報い、徳を以て徳に報ゆ」
 - すなわち。正義以下で行動する人に対しては、正義を守るように対応し、正義を守る人には正義を超える慈悲・慈愛で対応する。ということ
- 神の慈悲・慈愛に応答できるよう人間は心を進化させねばならない

正義と慈悲の関係とは

- 正義を実現するもっとも有効な方法は「慈悲」です
- 「慈悲」は仏教の用語であり、意味は、
「慈」=いくつしみ&「悲」=あわれみ
- いろんな神が万物の生命に生きる栄養素を送り続けている、その見えない姿が「慈悲」であると・・・
- われわれの環境をわれわれが「心地よい」生き方ができるよう、環境整備することは、「慈悲」かもしれない

慈悲の内容と実践

1. 地球環境を保全し、生態系を愛すること
自然の生態系のみならず、科学技術、物質技術、情報技術等を学ぶべき
2. 自己の生命を愛すること
個性を愛し、自己実現に努め、明るく喜びをもって生きる
3. 他人を愛し、尊敬すること
お互いの人格やプライバシーを尊重し、幸せを願う
4. 同胞の共同体を愛すること
自身の廻りの全ての集合体を大事にする

慈悲実行の秘訣

- 慈悲は公平
- 慈悲は親心
- 慈悲の向かう先は、弱者
- 慈悲は建設的な心
- 慈悲は非独占
- 慈悲は自身の苦勞の成果を神仏にささげ、その心を他人に頒つ
- 慈悲は悠々と、時節を待つ心

【結論】 正義を実現するため・・・

なんだかよくわかりませんが・・・

**正義を実現するために、
「慈悲」用います**

【最後に】 慈悲寛大自己反省

慈悲――

万物を愛し、慈しみ、育てる

寛大――

個性を尊重し、
多様さを認め、個性を伸ばす心

自己反省――

自己の道徳の実行に謙虚
かつ自信をもつこと

【本当に最後】正義とは——「私見」です

正義には

ローカルな正義

一人では正義は必要なく

二人以上の集まりでは正義が必要

なので、その集まりの正義がただし

しかし、普遍的に正しいかどうかは疑問

時々、普遍的な正義との乖離が激しく

大問題になることが多々ある。

普遍的な正義

天や神仏に誓って、「これは正しい・・・」

があると思います・・・